

おとくにしんぶん ③

2013

http://www.otokuni-jc.org/

発行/公益社団法人乙訓青年会議所 〒617-0826 長岡京市開田3丁目10-16 長岡京市立産業文化会館2F 編集/JC運動情報委員会

Contents

二月例会

会員交流会

乙訓の元気



理事長対談

久嶋務市長×岡村猛

（岡村理事長） 日頃、青年会議所活動にご協力頂きまして、誠にありがとうございます。早速ですが、本年度、乙訓青年会議所は創立三十四年目を迎えました。スローガンに「直心熱動」と致しまして正直にまっすぐに人の話を聞ける素直な心を持ち、熱い思いで行動し一年間活動していこうと思っております。

（久嶋市長） 本日はご苦勞様です。乙訓青年会議所の皆様には、ふれあい駅伝やケイジャーズカップの開催など、乙訓地域の子供達の健全育成事業に貢献頂き、感謝しております。今年の「直心熱動」というスローガンですが、分かり易いとても良いスローガンですね。

（岡村理事長） ありがとうございます。まずお聞きしたいのですが、間もなく完成します京都の北と南を結ぶ高速道路が開通しますが、それにより向日市及び乙訓地域がどのように発展し変化していくとお考えでしょうか。



2013年度理事長 岡村 猛

平成16年 乙訓青年会議所 入会
平成22年 組織力向上委員会 委員長
平成24年 副理事長
平成25年 乙訓青年会議所 理事長

(次のページへ)

乙訓の元気

二月三日、向日市向陽小学校グラウンドに於きまして「ギネスに挑戦！人間空気イス」が開催されました。これは向日市のKARAAーIグランプリのイベントとして開催されたもので、「辛（から）」「KARAAーI」「空（から）」「空気椅子」を掛けた企画。乙訓青年会議所はこのイベントの設営・運営に協力しました。



人間空気イスとは、一列に並んで同時に後ろの人の膝に腰掛けた姿勢のまま、一分間耐え抜くという行為。平成二十四年十月二十八日に福岡県大野城市市制四十周年記念事業の一つとして行われたイベントで、三十一人が参加した記録がギネス世界記録TMとして認定されています。今回はこの記録に挑戦すべく一五〇〇人を目標として参加者を募りました。また、記録だけでなく、グラウンドに人文字で大きな「辛」という文字が描き出すという挑戦もな

されました。呼びかけの時間が足りなかったことなどから、参加者は一〇十五人に留まり残念ながらギネス認定には至りませんでした。が、参加者からは「疲れたけれど楽しかった」「また挑戦したい」という明るい笑顔があれイベントとしては大成功。岡村理事長も率先して参加者の一人となり記録に貢献しました。イベントの終了後岡村理事長にインタビューしたところ「っからい」というより「つらい」「ね」という感想がこぼれました。

※ギネス世界記録TMはギネスワールドレコーズリミテッドの登録商標です。（記事 堤淳太）

桂川流域クリーンネットワーク

二月十七日

(目)に、第六回桂川クリーン大作戦に参加しました。この活動は、「桂川流域クリーンネットワーク」を中心に、桂川の流域を上流は園部地域から下流は大山崎の三川合流の地域まで一斉清掃をする活動で、ゴミの無い桂川を持続させる事を目標としております。当日



第二十二回JCC杯争奪ケイジャーズカップのお知らせ

二月九日(土)十一日(月)十七日(日)に第二十二回ケイジャーズカップ予選が行なわれました。準決勝に進出した学校は次の通りです。

(中学男子)
榎原中・勝山中・北野中・伏見中(中学女子)
大枝中・勝山中・東輝中・長岡第三中(高校男子)
亀岡高・京都橘高・乙訓高・立命館高(高校女子)
亀岡高・久御山高・京都西山高・南丹高

準決勝は三月十六日(土) 九時三十分より乙訓高校と西乙訓高校で行われます。

JC運動情報委員会
委員長 崔祥龍 編集長 谷口直満 副編集長 中路耕太
編集委員 岩井泉二郎 黒川昌哉 高井茂行 堤淳太 中小路健吾

会員募集

青年会議所「JC」は「明るい豊かな社会の実現」を理想とし、「奉仕・修練・友誼」を信条として様々な活動をしている青年経済人の集まりです。会員資格は二十歳から四十歳迄と年齢制限があり、メンバーは限られた時間の中で次代のリーダーとなる責任感を持ち切磋琢磨してきます。地域の産業を担う青年経済人の人的ネットワークを広げ、より青年会議所運動を展開する為に、メンバー一同、共に夢を語り合える仲間として「JC」の扉を開いて頂ける事をお待ちしております。乙訓青年会議所では随時メンバーを募集しております。

ご興味がある方は公益社団法人乙訓青年会議所事務局(〇七五-九五七-二三〇)まで

(記事 崔祥龍)

連絡先 〇九〇-八三五-一二八一

編集後記
徐々にしんぶん作りが出来るようになってきました。より出来のいいしんぶん作りを目指します。編集長 谷口直満



向日市長 久嶋 務 市長

平成 7年8月 向日市議会議員
平成15年4月 向日市長
平成23年4月 向日市長 3選

校、商業施設など、北の玄関口にふさわしい都市基盤の整備を行い、そのにぎわいを市中心へと誘導するため、駅周辺の拡幅整備などを精力的に行っています。

（岡村理事長） 今、お話頂いた駅周辺にも多くの店が加盟されている激辛商店街と、乙訓青年会議所が共催する「第二回KARAAーIグランプリ」が三月十七日に開催されます。先日の「激辛」人間空気イスのイベントにも多くの乙訓青年会議所メンバーがお手伝いさせて頂きました。イベント開催を目前に控え、去年の感想や今後の期待感

などをお聞かせ下さい。

（久嶋市長） 前回は雨の中、来場者が二万人と聞いており、今回は全国から多くの方々、向日市にお越しただけだと考えております。市としても、観光の振興やまちの活性化に繋がるものと大いに期待しています。

（岡村理事長） 続きまして、乙訓地方ふるさとふれあい駅伝ですが大きな事故もなく今年で十回目を迎えることになりました。地域の方にも浸透し子供達の走る姿を楽しみにしている方も増えて来ていますが、十回目という節目にあたり重要性や継続性などをお聞かせ下さい。

（久嶋市長） 乙訓青年会議所の皆様には、準備や後片付け、安全な運営にご協力頂き有難う御座います。地域への愛着と誇りの醸成を目指して、乙訓二市一町を駆け抜ける駅伝は乙訓地域が一つになって取り組める行事として続いて来ており、乙訓の未来を担う子供達の健全な育成と地域の方々との繋がりを深めるため、今後も継続していきたいです。